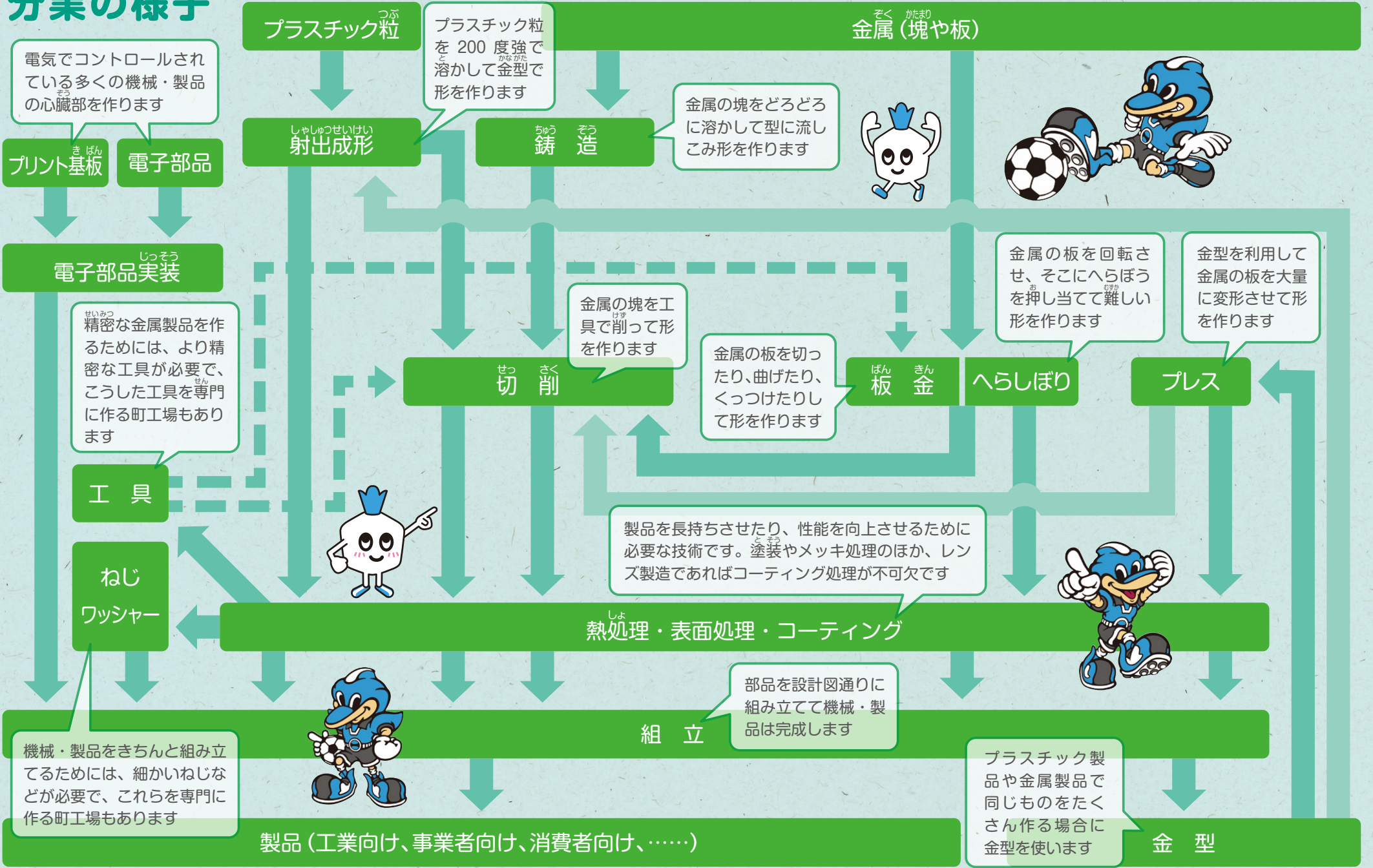


ものづくりに必要な 技術と町工場に分業

ものづくりの現場では、様々な金属やプラスチックの原料を使っていろいろな部品を製造し、それらを組み合わせて、私たちの生活を豊かにする製品や機械を形にしていけます。それぞれの工程を各分野のプロである町工場が分業し、協力することで、こうしたものづくりは成り立っています。高津区は、プロの町工場がたくさん集まっている地域なのです。

分業の様子



※ここでは全ての工程を紹介できていませんが、高津区には各工程を担う町工場がそれぞれの専門性を活かして活躍しています。

ワッシャー

(株) 東京メタル

大物 (橋) から小物 (スマホ) まで、組立にはねじとワッシャーが使われますが、特にワッシャー製造で有名な工場です。形状記憶合金の「スプリングワッシャー」は特許を取得しています。

MAP-8



工具

(株) ビービーエーカンパニー

精密な金属製品を作るために必要な1マイクロメートル (0.001mm) 単位の公差の工具を顕微鏡をのぞきながら作っています。ボールペンの書き味を調整しているのは、この工具のおかげです。

MAP-5

